An aerial photograph of Osaka, Japan, showing a dense urban landscape with numerous skyscrapers and modern buildings. A river flows through the city, crossed by several bridges. The sky is clear and blue.

# 大阪・関西万博をインパクトとした 大阪の成長に向けて

2023年6月29日

大阪府政策企画部 成長戦略局長 池田純子

# ■大阪の再生・成長に向けた新戦略 (戦略の全体イメージ)

ポストコロナに向けて、コロナ後の世界的ビッグイベントとなる万博をインパクトに取組みを加速

【経済】 5つの重点分野から取組みを推進し、さらなる成長へ

①健康・医療関連産業のリーディング産業化

②国内外の観光需要の取り込みの強化

③スタートアップ、イノベーションの創出

④新たな働き方等を通じた多様な人材の活躍促進

⑤国際金融都市の実現に向けた挑戦

成長を支える都市インフラの整備

【くらし】 働きやすく住みやすい、健康で快適な質の高いくらしの実現

【安全・安心】 経済とくらしを支える安全・安心な基盤整備



世界の課題解決に貢献し、誰もが輝く活力ある大阪の実現

大阪・関西万博の成功

日本の成長をけん引する東西二極の一極となる「副首都・大阪」を確立・発展



## ■2025年大阪・関西万博の概要

テーマ	いのち輝く未来社会のデザイン Designing Future Society for Our Lives
コンセプト	People's Living Lab（未来社会の実験場）
開催期間	2025年4月13日(日)～10月13日(月) 184日間
想定来場者数	約2,820万人
開催場所	大阪 夢洲（ゆめしま）
会場面積	155ヘクタール
経済効果	約2兆円



出典 2025年日本国際博覧会協会

# ◆People's Living Lab（未来社会の実験場）

～未来の技術と社会システムが見える万博～

新技術を実証し  
社会実装に  
つなげていく



水素エネルギーなどの  
カーボンニュートラル技術を実証



水素エネルギーイメージ図  
画像：いらすとや

「空飛ぶクルマ」の商用運航



空飛ぶクルマイメージ図  
画像：いらすとや

「キャッシュレス決済」の本格導入



画像：いらすとや

## ◆大阪ヘルスケアパビリオン Nest for Reborn

### REBORN

大阪・関西万博に地元大阪が出展参加するにあたってのテーマ。  
“「人」は生まれ変わる”、“新たな一歩を踏み出す”という意味を込めています。



大阪の産業・大学・自治体が知恵とアイデアを集結し、  
「いのち」や「健康」の観点から、未来社会の新たな価値を創造！

# n 成長戦略の重点分野

ポストコロナに向けた再生・成長

①健康・医療関連産業のリーディング産業化

②国内外の観光需要の取り込みの強化

③スタートアップ、イノベーションの創出


④新たな働き方等を通じた多様な人材の活躍推進

⑤国際金融都市の実現に向けた挑戦

# ①健康・医療関連産業のリーディング産業化

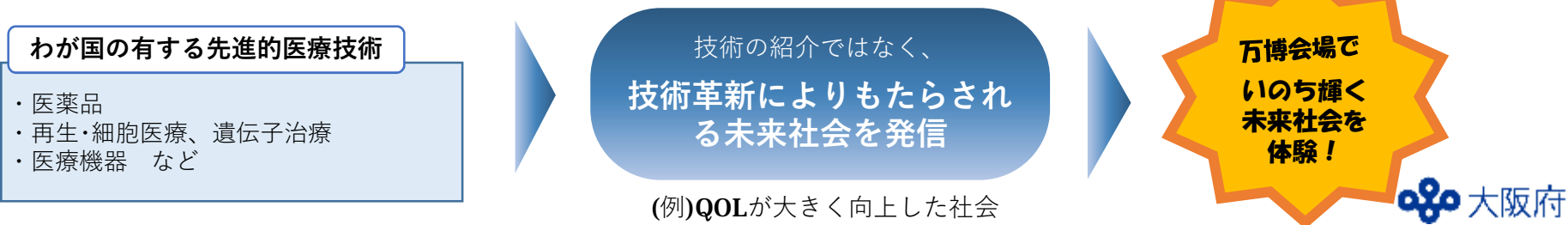
## ◆ライフサイエンス

大阪・関西には、再生医療を中心とするライフサイエンス分野におけるトップクラスの研究機関、企業、大学等が集積。こうした強みを活かし、ライフサイエンスを成長の柱として新たな価値を発信するとともに、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする大阪・関西万博を契機に、健康・医療分野で世界に貢献することをめざす。

テーマ	2022(現状)	2025 (万博開催)	2030 (万博後のめざす姿)
<p><b>iPS細胞やヒト体性幹細胞を活用した再生医療の産業化</b></p>  <p>▲「未来医療国際拠点」イメージ (出典) 一般財団法人未来医療推進機構HP</p>	<p>□再生医療の産業化に向けた検討開始</p> <p>(主な検討内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自家細胞を用いた自由診療の適正な普及に向けた医療機関支援</li> <li>他家細胞 (iPS、間葉系幹細胞等) を用いた再生医療等製品の普及促進に向けた課題と対応策</li> </ul> <p>□再生医療の拠点形成推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2024年春に中之島 (大阪) に未来医療国際拠点がオープン予定</li> </ul> <p>▷拠点内に、世界初となる「my iPSプロジェクト」の拠点施設や、iPS細胞による角膜再生医療を提供する医療機関等が入居予定</p>	<p>□再生医療の実用化がスタート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>未来医療国際拠点における「my iPS細胞」の開発製造、供給開始</li> <li>細胞・組織の安定供給システム構築 (組織採取→培養製造→輸送→治療)</li> <li>再生医療に携わる企業等を支援するプラットフォームの構築</li> </ul> <p>万博会場</p> <p><b>再生医療を国内外へ発信</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現状～未来の医療を情報発信</li> <li>大阪パビリオンにおいて、iPS細胞で作製した「心筋シート」を活用した展示をするなど、リアル・バーチャル両面から展示</li> <li>未来医療国際拠点とも連携</li> </ul>	<p>□再生医療の普及と産業化の進展</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>再生医療技術を核とした先端医療の普及と産業化モデルの確立</li> <li>再生医療技術に関して、世界からの認知を受け、大阪へ投資が向かうグローバル産業として成長</li> </ul> <p>□再生医療の提供による国際貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国内外の患者が、再生医療に容易にアクセスできる環境整備</li> <li>外資系企業・研究所、専門人材等の集積</li> </ul>

### 最先端の医療技術等の発信

万博会場における健康・医療分野の情報発信について、関係省庁、大阪府、博覧会協会にて検討中。



## ②国内外の観光需要の取り込みの強化

### ◆アート

#### 従来のイメージ

文化的価値⇒鑑賞用として掲示・保管

#### 課題

- ・産業という観点からの取組みが少ない
- ・販売環境の未整備
- ・発表の場の不足
- ・アート作家の東京への流出

#### 新たな視点（アイデア）

##### 都市ブランディングの確立

- ・アートの土壌整備
- ・ポテンシャルの活用方法の検討

##### アートを通じた人や投資の呼び込み

- ・国際的なアートフェアの開催
- ・作品発表の場の創出
- ・国内外への情報発信

#### 他都市の事例

・バーゼルのアートフェア



・ビルバオの街並み（グッゲンハイム美術館）



### ◆食

#### 従来のイメージ

##### リーズナブル

- ・安くて美味しい
- ・粉もん（お好み焼き、たこ焼き）など

#### 社会課題

- ・大量のフードロス
- ・栄養の偏り
- ・世界的な食糧不足
- ・畜産等の環境負荷 など

#### 新たな視点（アイデア）

##### 食の多様性

- ・ラグジュアリー層対応
- ・ハラール、ビーガン対応 など

##### フードテック

- ・代替食品（培養肉、代替たんぱく質等）
- ・3Dフードプリンタ など

##### ガストロノミー・ツーリズム

⇒その土地で育まれた食を楽しみ、食文化に触れることを目的としたツーリズム

##### 海外展開

- ・海外販路開拓（地域の食材について付加価値を高めたうえで輸出 など）



出典：内閣府2025年大阪・関西万博  
アクションプラン Ver.3



3Dフードプリンタ  
出典：内閣府2025年大阪・関西万博  
アクションプラン Ver.2



## ②国内外の観光需要の取り込みの強化

### ◆統合型リゾート（IR）の誘致

- u 国際会議場や展示場、ホテル、エンターテインメント施設、カジノ施設などが一体となった施設を大阪夢洲に設置するもの
- u 大阪IR株式会社（合同会社日本MGMリゾート及びオリックス株式会社が中核株主）が設置・運営
- u 2023年4月に国から区域整備計画の認定

（区域整備計画より）

規模など	敷地面積：約 <b>49.2万㎡</b> 施設規模：総延床面積 約 <b>77万㎡</b> MICE：国際会議場（最大会議室 <b>6,000</b> 人以上収容）、展示施設（展示面積 <b>2万㎡</b> ） 宿泊施設：約 <b>2,500</b> 室 カジノ施設：ゲーミング区域は総延床面積の3%以内
想定年間来訪者数	約 <b>2,000</b> 万人（国内 約 <b>1,400</b> 万人 国外 約 <b>600</b> 万人）
開業時期（想定）	<b>2029</b> 年秋から冬頃 ※ 工程が最も早く進捗した場合の想定
経済波及効果	建設時：約 <b>1兆5,800</b> 億円 運営：約 <b>1兆1,400</b> 億円／年 ※ 近畿圏

### ③ スタートアップ、イノベーションの創出

「未来社会の実験場」を体現するためには、革新的な技術やサービスを有するスタートアップの先駆的な取組みを促進していく必要がある。会場内外において多様な実証やチャレンジを推進することで、大阪のみならずわが国全体の成長を加速させる。

テーマ	2022(現状)	2025 (万博開催)	2030 (万博後のめざす姿)
スタートアップ・エコシステム拠点形成	<p>□スタートアップ・エコシステム拠点都市としてのスタートアップ創出の取組み</p> <p>・官民連携による「大阪・京都・ひょうご神戸コンソーシアム」を中心としたハンズオン支援（資金調達、経営・販路プロモーション、インキュベーション、起業家育成等）</p> <p>▷スタートアップ創出数：2024年度までに542社（2022年3月時点287社）</p>	<p>万博会場</p> <p>スタートアップの革新的技術・サービスを世界に発信</p> <p>・大阪パビリオンなどで、スタートアップの技術・サービスを実証</p> <p>□万博を契機にイノベーションを加速するスタートアップを創出</p> <p>・大阪・関西が、スタートアップ、学術機関、ベンチャーキャピタルなど、多様な機関・人材等のハブ機能を担い、次々にイノベーションを創出・発信</p>	<p>□大阪・関西を、万博のレガシーを継承した世界トップレベルのスタートアップ集積拠点に</p> <p>・大阪・関西を世界トップレベルのスタートアップ集積拠点に</p>

#### ディープテック（大学発）スタートアップの創出・成長

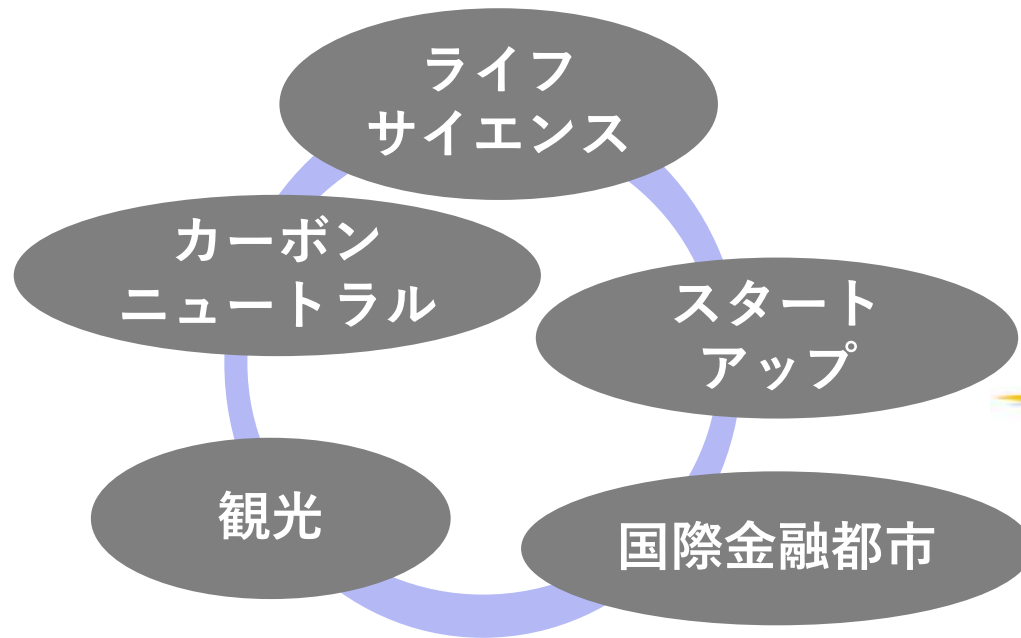
- 企業版ふるさと納税を活用し、大学等の研究シーズの事業化を後押しするため、大阪が強みを有する創薬分野における補助事業をスタート
- 関西圏の企業・大学等のリソースを結集し、グローバルに活躍するスタートアップを創出する「起動」プロジェクト
- 産学官連携組織「K S I I」「K S A C」による大学シーズの事業化に向けた取り組み など

## ⑤国際金融都市の実現に向けた挑戦

### ◆国際金融都市の推進 ビジョン

大阪の産業・プロジェクトを金融の力で加速させ、日本・世界の未来を切り拓く

#### 大阪の産業・プロジェクト



大阪・関西の経済成長  
世界の課題解決へ

#### 金融の力で取組みを加速

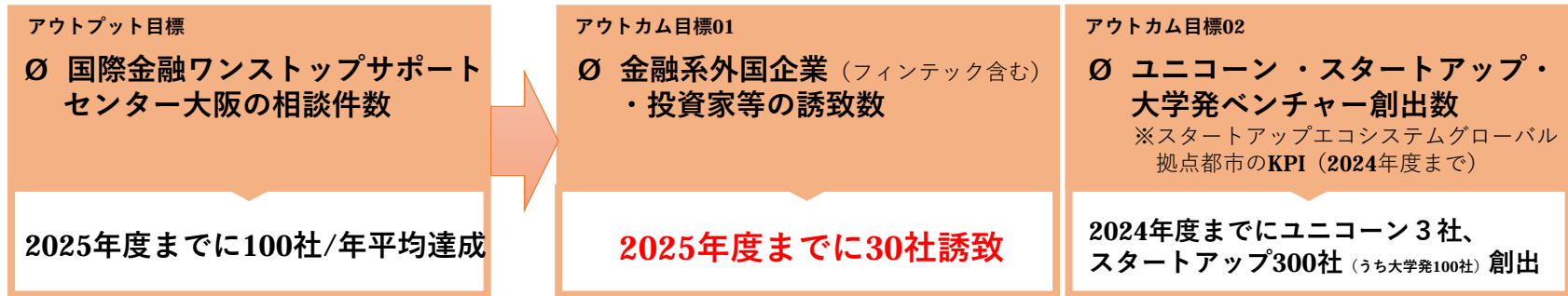
- ・ヒト・モノ・カネを大阪に集積
- 大阪の産業・プロジェクトへの投資
- 大阪発のフィンテックの新事業を展開

## ⑤ 国際金融都市の実現に向けた挑戦

### ◆ 戦略の取組期間と目標

カーボンニュートラル目標年度である**2050年**を戦略の目標年度、**2025年度**までを土台づくりの期間（第一期活動期）として取り組む。戦略の推進にあたっては、**KPI**を活用した戦略目標を設定

#### 戦略目標



### ◆ 進出企業（2023年5月末時点）



幅広い業種に投資（独立系PEファンド）  
⇒事業承継ニーズの増加などビジネス機会を見込んで進出



海外送金サービスを提供（フィンテック企業）  
⇒インバウンドの盛んな大阪・関西での事業を見込んで進出



クラウド型経理DX支援システム（フィンテック企業）  
⇒インボイス制度等関連のビジネス機会を見込んで進出

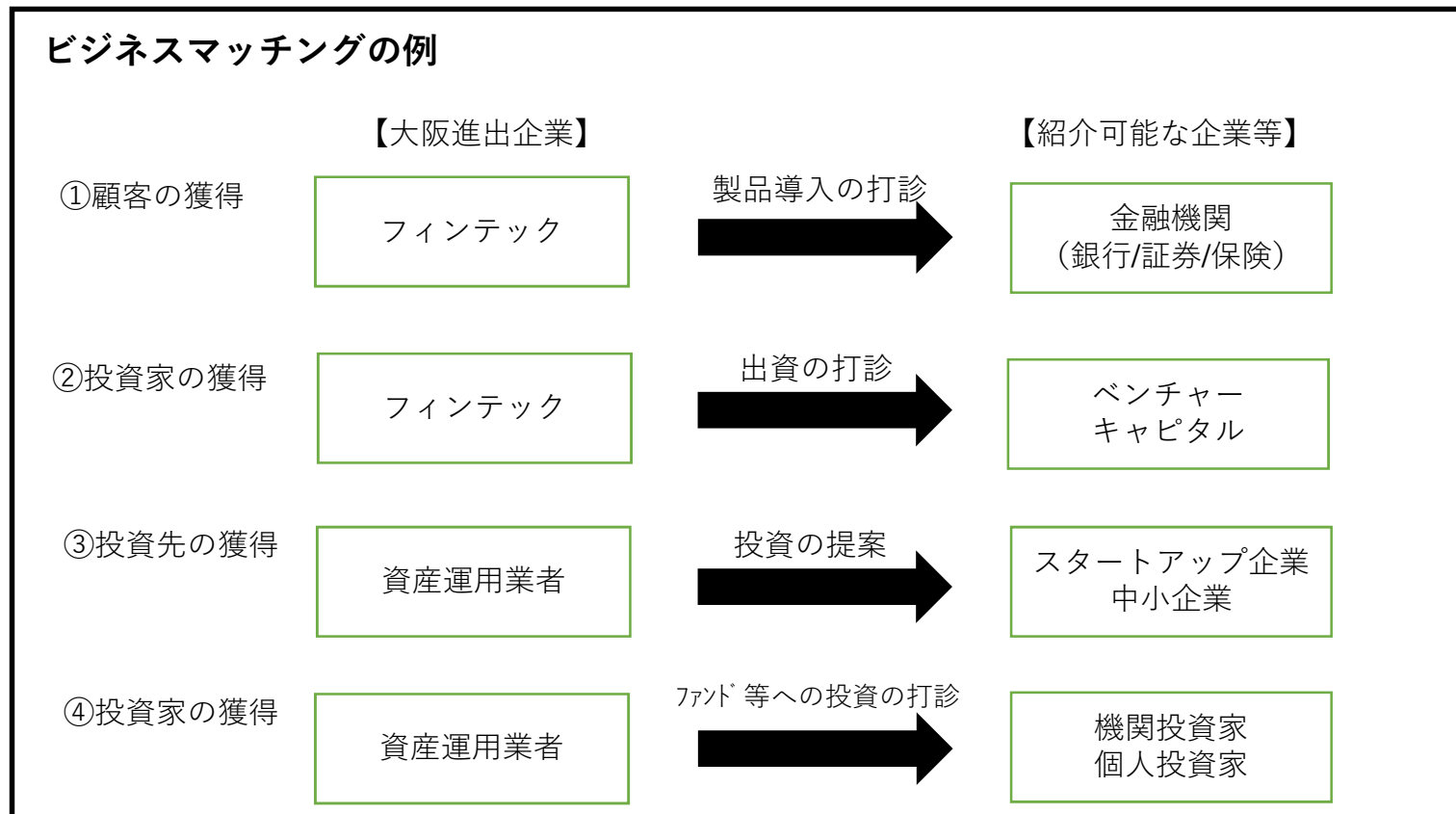


証券会社（法人向けビジネス中心）  
⇒BCP拠点の必要性から進出

## ⑤ 国際金融都市の実現に向けた挑戦

### ◆ 国際金融都市の推進 ビジネスマッチング

戦略に掲げた目標を達成するため、大阪進出又は進出意向のある金融系外国企業等に対して、ビジネス機会の創出などに取組む



**マッチング可能な企業・紹介可能な企業がありましたら、ぜひご紹介ください！**

## ⑤ 国際金融都市の実現に向けた挑戦

### ◆ 国際金融都市の推進 自治体としてのサポート

金融による地域経済エコシステムを大阪に構築するため、自治体として各種サポートを提供

#### n ワンストップサポートセンター

- 金融系外国企業等の拠点設立に関する無償の相談・サポート
- 金融ライセンス等の専門的な相談や関係機関の紹介のほか、住居、教育、医療等の生活面の相談にワンストップで対応

#### n 補助金

- 大阪市内に新たに進出する金融系外国企業等を対象に、事前調査や拠点設立の必要経費の一部を補助
- 事前調査は上限**110万円**（**100%**補助）、拠点設立経費は上限**1,000万円**（**50%**補助）

#### n 税制・規制改革

- 大阪市内に新たに進出する金融系外国企業を対象に、地方税の法人実効税率を最大約**2%**を軽減（検討中）
- 今後も、参入の障壁となる税制や規制について緩和等を国に要望するなど、ビジネス環境を改善していく

## ■持続的な成長に向けて

これまでの行政における「産業振興策」の範疇を超えて、「新たな視点」により「成長の芽」を継続的に探索

### 新たな視点

- ・ 世界の中での、大阪・関西のプレゼンス向上
- ・ これまで不十分であったラグジュアリー層の呼び込み
- ・ 国内外から人材・企業・投資の呼び込み
- ・ 府内各地における地域資源を発掘、活用
- ・ 異なる分野の掛け合わせ など



引き続き、大阪・関西万博をインパクトとした大阪の成長に向け、取り組んでまいります

ご清聴ありがとうございました